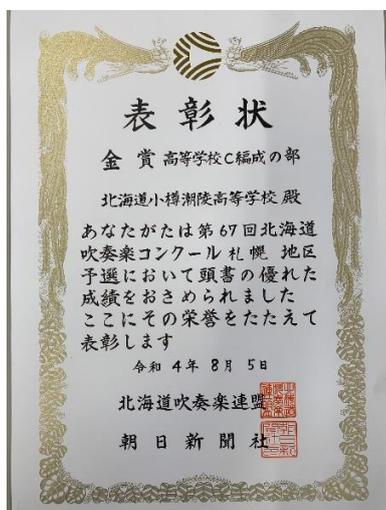


# 吹奏楽局 2022 年前期の活動報告

日が経ったものもございますが、活動を報告させていただきます。

## ♪吹奏楽コンクール 札幌地区大会



8月5日(金)に、札幌コンサートホール Kitara で開催された高校C編成の部に参加しました。今年度はバルトーク.B 作曲「『舞踏組曲』より II, V, VI」を演奏しました。オーケストラの響きや表現を意識し、作曲者が生まれたハンガリーの音素材へのアプローチなど、様々な視点から楽曲を分析し、試行錯誤を繰り返しながら、局員全員が一丸となり練習に取り組みました。迎えた本番の演奏では、作り上げてきた音楽が会場全体に響いていることを実感しました。結果は、昨年に引き続き、2年連続で金賞を受賞することができました。全道大会への代表権は得られませんが、得た経験を来年度以降に繋げられるよう努力します。

大会を直前に控えた7月31日(日)のホール練習(小樽市民会館)では、コンクール本番を想定した演奏を、保護者の皆様に向けて披露しました。

## ♪高文連 後志支部音楽発表大会



8月19日(金)に、岩内地方文化センターで開催されました。支部大会は新型コロナウイルス・感染症のため、3年ぶりに開催されました。私たちは吹奏楽コンクールでも演奏した「舞踏組曲」を演奏しました。この日は演奏するだけでなく、吹奏楽コンクール札幌地区大会では叶わなかった他校の演奏の鑑賞ができました。また、高文連の大会は合唱や日本音楽の演奏も鑑賞できることが特徴で、どちらも刺激になりました。審査の結果、吹奏楽部門で最優秀賞をいただき、10月に苫小牧市で開催される「全道高等学校音楽発表大会」に、後志支部代表として推薦いただきました。

## ♪第35回定期演奏会

8月21日(日)に、小樽市民会館にて開催しました。1年間の活動の集大成である定期演奏会ですが、3年ぶりにお客さまを会場にお迎えして開催することができました。

開演に先立ち、「ウェルカムコンサート」としてアンサンブルを3曲披露しました。演奏会は2部構成で実施し、第1部は今年度の吹奏楽コンクール課題曲「ジェネシス」や、吹奏楽コンクールや高文連支部大会で演奏した「舞踏組曲」など、吹奏楽のために書かれた作品や管弦楽作品を中心に演奏しました。第2部は「クイーン・メドレー」や、NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」メインテーマなど、ポップスやJ-POP、ジャズなど、耳馴染みのある曲を演奏しました。

終了後は来場された皆様から暖かい拍手をいただき、改めて音楽をする喜びを感じたとともに、演奏のみならず、演出や照明立案、プログラム冊子作成や協賛先訪問など、1年間準備してきた成果を、演奏会で結実することができました。

※2ページ目に続きます。



定期演奏会の開催にあたり、いつも応援いただいている保護者の皆様や学校関係者、地域の皆様、定期演奏会に協賛いただきました皆様、レッスンいただいた講師の先生方など、沢山の皆様からご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

## ♪小樽ストリートピアノ JAM2022



8月27日(土)に開催されたイベントに出演させていただきました。小樽市内各地で、100名の方がストリートピアノを演奏する「路上100人ピアノ」や、吹奏楽の演奏で小樽の街を盛り上げるイベントです。こちらも新型コロナウイルス・感染症のため、3年ぶりに開催されました。私たちは小樽サンモール商店街会場にて、前週の定期演奏会で演奏した曲から3曲をピックアップして演奏しました。屋外での演奏ということで、聴いていただいた方との距離が近く、息づかいを感じながら演奏を楽しんでいたことと思います。

## ♪高文連 全道高等学校音楽発表大会



10月5日(水)6日(木)の2日間、苫小牧市民会館で開催されました。高文連全道大会へは5年ぶり4回目の参加になります。各大会や定期演奏会で演奏してきた「舞踏組曲」を披露する最後の機会となりました。また、全道各地から集まった各支部代表校の演奏を聴き、大きな刺激になりました。結果、奨励賞をいただきました。

来年度は本校が大会の当番校を務めます。閉会式では局長が次年度当番校代表挨拶を行い、今年度の当番校を務めた駒大苫小牧高校さんから道高文連旗を引き継ぎました。3年生はこの全道大会をもって引退し、新体制になりました。これからも、良質な演奏を皆様にお届けできるよう、日々練習を積み重ねていきます。